

1から学ぶ中学受験算数 ～第14回過不足算①～

氏名： 解答・解説

例1 えんぴつを子どもたちに配ります。1人に3ずつ配ると8本あまり、1人に5本ずつ配ると4本不足します。子どもの人数とえんぴつの本数を求めなさい。

	3本	3本	...	3本	3本	8本あまり	「あまり」と「不足」の ちがいは足し算!! 8 + 4 = 12本
	5本	5本	...	5本	5本	4本不足	
差	2本	2本	...	2本	2本	12本	

$12 \div 2 = \underline{6人(子ども)}$   
 $3 \times 6 + 8 = \underline{26本(えんぴつ)}$

例2 画用紙を子どもだちに配ります。1人に8枚ずつ配ると44枚あまり、1人に11枚ずつ配っても8枚あまりです。子どもの人数と画用紙の枚数を求めなさい。

	8枚	8枚	...	8枚	8枚	44枚あまり	「あまり」とうしの ちがいはひき算!! 44 - 8 = 36枚
	11枚	11枚	...	11枚	11枚	8枚あまり	
差	3枚	3枚	...	3枚	3枚	36枚	

$36 \div 3 = \underline{12人(子ども)}$   
 $8 \times 12 + 44 = \underline{140枚(画用紙)}$

例3 折り紙を子どもだちに配ります。1人に9枚ずつ配ると70枚不足し、1人に7枚ずつ配っても10枚不足します。子どもの人数と折り紙の枚数を求めなさい。

	9枚	9枚	...	9枚	9枚	70枚不足	「不足」とうしの ちがいはひき算 70 - 10 = 60枚
	7枚	7枚	...	7枚	7枚	10枚不足	
差	2枚	2枚	...	2枚	2枚	60枚	

$60 \div 2 = \underline{30人(子ども)}$   
 $9 \times 30 - 70 = \underline{200枚(折り紙)}$